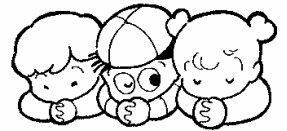


ディボーション質問表



今週の箇所は、エホヤキム王の時代にエレミヤによってなされた託宣（7：1～20：18）の一部です。

20日（月）エレミヤ書 10：1～11 偶像と真の神1

1. 神の偉大さをおぼえつつも、偶像に対してエレミヤはどんな態度をとっているのでしょうか？ あなたは悪魔の働きをエレミヤのように憎んでいますか？ それとも大目に見ているのでしょうか？
2. 怒りの感情はそれを正しい敵、悪魔にむけるならば大いに用いられるべきものです。怒りを正しく使ってみましょう。そして悪魔サタンに戦いをいどみましょう。

21日（火）エレミヤ書 10：12～25 偶像と真の神2

1. 12～16 節を読んで、すべてを造られた神さまと人の手によって刻まれた偶像の神との比較を試みましょう。 → 人の手で作られた最高傑作品はときに私たちを驚かせます。しかし、自然をみると神さまはそれをはるかに超えて素晴らしく力強い方であることを認識させられます。
2. 日々の人生の歩みはだれによってたしかにされるのでしょうか（23 節）？ → 私は何によって人生をたしかなものにしようとしているのでしょうか？

22日（水）エレミヤ書 11：1～17 破られた契約

1. 神さまの前に悪である心の状態とはどのようなものなのでしょうか（8 節）？ 具体的にはどのようなことでしょうか（10 節）。 → 純粹で素直な心でみ言葉に従う心をもっているのでしょうか？
2. 14 節で神さまは「この民のために祈ってはならない。」と言っておられます。これを読んでどう思いますか？ 神さまはなぜエレミヤにこのような事を言われたのだと思いますか？

23日（木）エレミヤ書 11：18～12：6 エレミヤの訴え

1. 神さまは私たちの思いと心をどうされるのでしょうか（20 節）？ もし神さまの介入があるのであれば私たちはどうすればよいのでしょうか？ → 私のうちに偶像礼拝（神さま以外に自分の拠り所となっている、支えになっている）ものはないのでしょうか？ 即座に悔い改めているのでしょうか？
2. エレミヤはどのような疑問をもっていますか（1～4 節）？ → この世の理不尽さに嘆き染まるのではなく、エレミヤのように神さまの義が成るようにとりなし、正しい道を歩んでいるのでしょうか？

24日（金）エレミヤ書 12：7～17 主の嗣業

1. 「私の相続地」（7～9 節）という言葉が繰り返し出てきます。この言葉は何を意味しているのでしょうか？ 神さまは何故このような表現をされているのだと思いますか？
2. 14～17 節を読んで神さまが私たちを裁かれるときどのような意味合いがあるのか、確かめましょう。 → 裁きは、滅ぼすためにされますか（14 節）？ 悔い改めるチャンスはあるのでしょうか（16 節）？

25日（土）エレミヤ書 13：1～27 エレミヤに対する実物教育

1. 1～13 節の預言者と神さまのやりとりから学べることはなにでしょうか？ → 私の心はいつもイエス様の血潮によって洗われているのでしょうか？ 心を隠すことはしていませんか？
2. 神さまは、イスラエルを酔わす、と語ります（13～14 節）。酔ったらどうなりますか？ では、靈的に酔った状態にするものは何でしょうか（17 節、22 節、25 節、27 節）？